

いぐさポット苗機械移植栽培における早植え栽培法					
<p>[要約] いぐさポット苗機械移植で、移植時期を標準の11月20日から11月10日に早める場合、栽植密度は小苗で28株/m²、標準苗で25株/m²にすると収量が増える。また、高品質・多収のための先刈り時期は収穫前60日、追肥回数は1回増やし、基準より10日程度遅い時期に最終追肥を行う晩期追肥、収穫時期は標準の7月15日が適する。</p>					
担当部署	筑後分場・水田高度利用チーム			連絡先	0944-32-1029
対象作物	いぐさ	専門項目	栽培	成果分類	技術改良

[背景・ねらい]

いぐさのポット苗機械移植栽培において、慣行の移植時期である11月下旬に本田へ移植するには、9月下旬に育苗（挿し苗）作業を行う必要がある。しかし、この時期は新しいぐさの畳表製織作業の最盛期で、育苗作業と畳表製織作業とが競合する。

そこで、これらの作業の競合を緩和するために、育苗時期を9月上旬に、本田移植時期を慣行より10日早めた場合の栽培技術を確認する。

[成果の内容・特徴]

1. 本田移植時期を標準の11月20日から11月10日に早める場合、栽植密度を小苗（挿し芽1茎2芽）で28株/m²、標準苗（挿し芽2茎2芽）で25株/m²にすることにより、先刈り後の生育が良好で茎長が長く、収量が多くなる（表1）。
2. 先刈り時期は早いほど多収となるものの、花序着生率が増加して品質が劣るため、収量や品質面からみた先刈り時期は収穫前60日が適正である（表2）。
3. 追肥回数は1回増やし、基準より10日程度遅い時期に最終追肥を行う晩期追肥にすることで、収量が多くなり、花序着生率が低くなる（表2）。
4. 収穫時期は、茎長が長く、収量が多くなる標準の7月15日が適する（表2）。

[成果の活用面・留意点]

1. いぐさポット苗機械移植栽培で移植時期を11月10日まで早めた場合の技術資料として活用できる。
2. 本県のいぐさ施肥基準では、追肥は5回で収穫30日前に最終追肥となっているが、早植え栽培では全施肥量は変えず1回の追肥量を減らし、追肥回数を施肥基準の5回から1回増やして6回とし、最終追肥は基準より10日遅らせる。

[具体的データ]

表1 苗の大きさ、栽植密度と先刈り前までの初期生育、収穫時の茎長、収量

苗の 大き さ	栽植 密度 (株/m ²)	2月上旬		4月上旬		先刈前		収穫時	
		茎長 (cm)	茎数 (本/m ²)	茎長 (cm)	茎数 (本/m ²)	茎長 (cm)	茎数 (本/m ²)	茎長 (cm)	120cm以上 収量(kg/a)
標準苗	28	28	339(100)	41	1806(100)	78	3591(100)	138	47 (100)
小苗	28	26	312(92)	35	1524(84)	77	3450(96)	141	50 (106)
標準苗	25	27	249(73)	36	1411(78)	76	3299(92)	139	50 (106)

注) 1. 標準苗は挿し芽2茎2芽、小苗は挿し芽1茎2芽で育苗。
2. ()は標準苗との比率(%)

表2 収穫時期、先刈り時期、追肥法と生育、収量、品質

植付 時期 (月/日)	先刈 時期 (日)	追肥法	収穫 時期 (月/日)	茎長 (cm)			120cm以上 収量(kg/a)			部分変 色率 (%)	花序着 生率 (%)			
				H13	H14	平均	H13	H14	平均					
11/10	-50	基準追肥	7/10	131	121	126	41	3	22(45)	8.2	0			
				-60	"	"	140	126	133	53	14	33(67)	2.4	2.7
				-70	"	"	135	131	133	60	25	43(88)	5.5	4.5
	-50	晩期追肥	7/10	127	123	125	44	5	25(51)	5.0	0			
				-60	"	"	131	128	130	49	18	33(67)	2.7	0
				-70	"	"	132	133	132	59	27	43(88)	3.3	0.4
11/10	-50	基準追肥	7/15	141	132	137	64	10	37(76)	5.3	0			
				-60	"	"	143	134	139	66	33	49(100)	5.3	0.9
				-70	"	"	145	139	142	72	45	59(120)	6.0	3.5
	-50	晩期追肥	7/15	141	127	134	71	16	44(90)	4.1	0			
				-60	"	"	146	136	141	75	27	51(104)	3.0	0.7
				-70	"	"	147	141	144	84	44	64(131)	4.4	0
11/20 (標準)	-60	基準追肥	7/15	142	131	137	78	20	49(100)	7.4	0			

分散分析結果

収穫時期	*	**	ns	ns
先刈り時期	+	**	ns	+
施肥法	ns	*	ns	*

注) 1. 先刈り時期は収穫前の日数で-50、-60、-70とした。
2. 施肥法の基準追肥は4+10+11+14+10(計49kgN/10a)と福岡県いぐさ施肥基準に準じ
晩期追肥は4+6+10+13+10+6(計49kgN/10a)と施肥回数を1回増やし、基準追肥より
最終追肥を10日遅らせた。
3. 120cm以上収量の()は11/20植付を100とした標準比。
4. 分散分析の+、*、**は各々10、5、1%水準で有意差あり、nsは有意差なし。

[その他]

研究課題名：いぐさポット苗機械移植栽培の移植期早進化技術の確立
予算区分：経常
研究期間：平成14年度(平成13~14年)
研究担当者：井上拓治、福島裕助、住吉 強